

小さな一歩は、5110歩にないました



継続は力なり

2010年開設より行ってきた環境への取り組みは、やがてSDGs活動、脱炭素活動と呼ばれるようになった。ヨネッティーの隣に立地していたこと、翌年の東日本大震災を経験しエネルギー問題を真剣に考えるようになった。

毎日山のように出るおむつをビニール袋に入れずに新聞紙に包む、清掃を便利なペーパーではなくボロ布を利用するという簡単な取り組みであった。

地球を守る活動は日々の生活の中から見つけた「小さな一歩」は5110日が経過、ビニール袋320万枚、ウエス43万枚を削減した・・・

まさに継続は力なり。

SDGs

新聞

第7号
2024. 6

ミッションインポッシブル



施設ではおむつはなくそうにもなかせないもの。ゴミや環境問題を考えてもどうにもならない・・・と諦めていた。

しかし他のゴミは減り続けているのにおむつのゴミを占める割合は2030年には5%から7%に増え日本の脱炭素化の危機に。

「やりましょう」スタッフの一言が背中を押した。

おむつから布パンツへの切り替え、パット交換の見直しが行われた。大切なのは生活の質をあげることで、数字や成果を問うものではない。

人の生き方を問う、これがみどりの丘のSDGsのやり方である。



地域を元気に



ショート利用者様を元気にする「スマイルステイ」が始まって半年。評判もよく予約を取るのが難しいとの嬉しい声もちらほら聞かれるようになりました。

日本一長寿の高齢者が暮らす街の応援団として地域を元気にしていきます。



働く人を元気に



4月から育休明けのスタッフ2名が復帰してきました。働くお母さんを施設全体でサポートしていきます。また、親の介護で悩みを抱えているスタッフもいます。

長い人生の中では立ち止まる、壁にぶつかることもあります。

仕事を続けるためには時には人に頼ることも必要なことです。

人助けはお任せあれ・・・

「介護屋」ですから